

実務経験のある教員等による授業科目一覧

人間環境学部 心理学科

| 科目CD  | 科目名                    | 担当教員           | 配当年次 | 単位数 | 実践的教育の授業内容  |
|-------|------------------------|----------------|------|-----|---|
| HE040 | キャリアデザイン               | 樋口 貴子          | 1    | 2   | 1級キャリアコンサルティング技能士として、昨今の大学生を取り巻く就職環境の変化に応じた大学生に必要なキャリア教育として、全15回の授業を通して、キャリア理論と組織心理学や人的資源管理・経営管理論をベースに、これからの新しい時代に必要とされ得るキャリア形成について、自分の将来の指針やキャリア目標を立てるための「自己理解」「仕事理解」「啓発的経験」に関する個人ワークとグループセッションを織り交ぜて、アクティブラーニング形式で展開する。   |
| HE041 | ビジネスコミュニケーション          | 樋口 貴子          | 3    | 2   | 民間企業で採用・人材育成に携わった経験、ならびに1級キャリアコンサルティング技能士として民間企業や地方公共団体での能力開発の実務経験を基に、ビジネスコミュニケーションをケースメソッドで指導する。また、実際のビジネスシーンで活かせる実践的な対人技術スキルやビジネスマナーを習得するため、ペアセッションやグループワークを織り交ぜたアクティブラーニング形式での演習を展開する。また、最終回はプレゼン面接として、採用面接を想定した「自己PR」「学生時代に力を注いだこと」をプレゼンテーション形式で実施する。   |
| HE042 | キャリア形成演習               | 樋口 貴子          | 3    | 1   | 民間企業で採用・人材育成に携わった経験、キャリアコンサルティング技能士として民間企業や自治体の人的資源管理のコンサルティング経験を基に、年々変化する大学生を取り巻く就職環境に即したキャリア開発の実践力をアクティブラーニングで指導します。就職活動の本番をイメージするため、グループディスカッションや模擬面接などの採用試験を想定した実践演習を行います。よって、2日間の本プログラムでは、リクルートスーツを着用して参加してください。   |
| PS107 | 心理演習 I                 | 坂本 真也<br>丸山 宏樹 | 3    | 1   | 授業は、①前回の振り返り(前回のリアクションペーパーに書かれたコメント・質問への教員からのコメント・回答)、②各回の内容、③リアクションペーパーへの記入で構成される。各回の授業内容やリアクションペーパーを基に、積極的にディスカッションを行っていく。また、すべての授業において、実際の心理職(臨床心理士・公認心理師)としての保健・医療現場や教育現場を中心とした実務経験を交えていくが、特に、1回から5回、7回から14回目までの内容において、コミュニケーションのあり方、心理面接におけるかかわり方、心理検査の実施とフィードバック、チームや多職種連携のあり方、職業倫理および法的義務の理解について、臨床心理士・公認心理師の実務経験を踏まえ実践的知見に基づいた内容を取り入れて展開していく。 |
| PS108 | 心理演習 II                | 坂本 真也<br>丸山 宏樹 | 3    | 1   | 第1回および第2回は教員からのレクチャー、第3回から第14回は、①前回の振り返り(前回のリアクションペーパーに書かれたコメント・質問への教員からのコメント・回答)、②各回の内容、③リアクションペーパーへの記入で構成される。各回の授業内容やリアクションペーパーを基に、積極的にディスカッションを行っていく。また、すべての授業において、実際の心理職(臨床心理士・公認心理師)としての保健・医療現場や教育現場を中心とした実務経験を交えていくが、特に、3回から14回目までの内容において、コミュニケーションのあり方、心理面接におけるかかわり方、心理検査の実施とフィードバック、チームや多職種連携のあり方、職業倫理および法的義務の理解について実践的知見に基づいた内容を取り入れて展開していく。 |
| PS304 | 教育・学校心理学 II<br>(学校心理学) | 松村 菜々子         | 3    | 2   | 各回の資料を配布し、それに沿って講義を進めていきます。各回の講義は、前回の復習、受講生からの意見や質問の紹介とそれに対する教員からの回答、当該回の学習内容から構成されています。毎回の授業の最後には、受講生は講義内容に関する質問をすることができます。それに対する教員からのフィードバックは、質問の内容に応じて、配布資料の中で当該の質問と回答を記載することによってクラス全体に対して行われる予定です。また、本講義担当者は、公認心理師、臨床発達心理士であり、教育現場ではスクールソーシャルワーカーや教育相談員として教職員や児童・生徒への支援の経験があります。また、医療や福祉現場でも心理士として、発達障がいの子どもやその保護者への支援などを行っています。                  |
| PS305 | 教育・学校心理学 I<br>(教育心理学)  | 坂本 真也          | 1    | 2   | 授業の展開として、基本的に講義形式を取る予定であるが、受け身的な形式ではなく、積極的に考える姿勢を尊重し適宜質疑応答を含めディスカッションを取り入れることも視野に入れている。なお、スクールカウンセラーの実務経験を生かし、特に6回、11回～14回の授業において実践現場の児童生徒が抱える問題について取り上げていく。問題の背景にある発達的特徴や家庭の影響なども踏まえ、事例(ケース)を示しながら支援の実践的な理解(個人の支援と同時に教師や保護者との連携や地域機関との連携など)を促進できるような展開をしたい。  |

実務経験のある教員等による授業科目一覧

人間環境学部 心理学科

| 科目CD  | 科目名               | 担当教員  | 配当年次 | 単位数 | 実践的教育の授業内容  |
|-------|-------------------|-------|------|-----|---|
| PS705 | 心理学実践研究<br>(事例研究) | 高橋 蔵人 | 2    | 2   | 前半の第1回から第5回の授業では、心理学実践の研究と事例研究、臨床事例の理解の仕方などについて教員から講義を行う。そして第6回のまとめを経て、後半はテキストの臨床事例を通して、事例研究を実際に行ってみる。テキストの事例について、その事例の主訴を理解し、見立てを立ててみる。さらに心理療法過程を検討することによって、人のこころや心理療法について思ったこと、感じたことをまとめる。後半の事例研究(事例検討)では、ALが中心になる。そのため積極的に自分の意見を述べる事が求められる。第14回ではテキストの著者をゲストスピーカーとして招き、心理学実践(心理臨床実践)の実際について話してもらい、質疑応答を通じて、心理臨床という営みについての理解を深める。 |
|       |                   |       | 合計   | 13  |   |